

町制施行100周年を記念して協賛物品が贈呈されました

町制施行100周年PRイベント(宇美町フェスティバル)の開催などで100周年を応援していただいている森博多織株式会社(宇美町)の森社長から、「新型コロナウイルスの感染拡大により、楽しみにしていた最後の大会などが中止になった小学6年生や中学3年生の卒業記念品などに使ってください。」と協賛物品(献上ボールペン1,000本)を贈呈していただき、町長から感謝状が贈呈されました。
(ゴールドパートナー)森博多織株式会社(社長 森議夫 様)



▲感謝状贈呈式(左:森博多織(株)森議夫社長)

新任民生委員に委嘱状が交付されました

8月1日(土)付で、三原自治会の小宮利恵さんが民生委員・児童委員として厚生労働大臣から委嘱を受けられました。

民生委員・児童委員は、地域の方々の身近な相談相手として活動し、さまざまな問題を解決する機関へとつなぐ支援を行っています。地域の民生委員に関する事は健康福祉課までお問い合わせください。



▲委嘱状を受けられた小宮さん

宇美町からダブル受賞

福岡県PTA連合会主催の第28回広報紙コンクールで令和元年度桜原小PTA広報委員会と宇美東中PTA広報委員会が小学校32校、中学校9校の中から最優秀賞である県教育委員会賞を受賞しました。町内小中学校が同時に最優秀賞を受賞したのは初めてです。両校とも保護者にとって身近な疑問や地域の方々子どもたちの関わりを取り上げた内容が高く評価されました。両校のPTA紙は福岡県代表として全国大会へ出品されます。



▲桜原小PTAの皆さん



▲宇美東中PTAの皆さん

みんなの食堂「うみ手伝い隊」の発足式が行われました

8月5日(水)、し〜ず・うみにて、「みんなの食堂」発足式が行われました。「こども食堂」をご存じの方は多いと思いますが、「みんなの食堂」は、多世代交流の居場所づくりを目的としています。

宇美町更生保護女性会、保護司会宇美支部の方々が中心となり、視察、会議を繰り返し、発足する運びとなりました。

代表の西依さんから、「コロナ禍にあって、本来の目的である食事づくりを通じての繋がりを実施する目は立っていませんが、まずは、フードバンクにより、食料品に困っている家庭を支援していきたい」と挨拶されました。



▲代表の西依さん

宇美町出身! 東京ヤクルトスワローズの松本友選手が支配下登録!

7月8日(水)東京ヤクルトスワローズに所属する松本友選手の支配下登録が発表されました。

皆さんで宇美町出身の松本友選手を応援しましょう!

松本友選手

大卒独立リーグから2018年育成ドラフト2位で東京ヤクルトスワローズへ入団。

2020年7月に支配下登録選手(1軍・2軍の試合に出場できる権利を持つ選手)となる。

パンチ力のある打撃と内外野守れるユーティリティプレイヤーとして期待されています。



▲支配下登録が発表された松本友選手



宇美町立図書館
☎932-0600
FAX 932-0631

◆一般書 ◆児童書

『天空への願い』 KAGAYA / 著 河出書房新社
月虹、夜明けのオーロラ、天の川をゆく流星…。その先に幸いがありますようにと、願わずにはいられない、天空の贈りもののような一瞬の奇跡! Twitterフォロワーが75万人を超える星景写真家による写真集。



◆児童書

『本屋のミミ、おでかけする!』 森環 / 作 あかね書房

本のことならおまかせ!という本屋の子ミミ。でも実は、おでかけが大の苦手なのだ。ある日、仲良しの絵描きさんがけがをした。そこでミミは、お見舞いへ行こうと一大決心する。本に夢中の子が成長する物語。



10月の特集コーナー

●一般書コーナー

『宇美町 100歳おめでとう!』

『わたしたちの宇美 令和2年度版』 宇美町教育委員会 / 編集

●児童書コーナー

『ハッピーバースディ うみまち』

『10ぴきのおぼけのたんじょうび』 にしかわおさむ / 作・絵 ひかりのくに

ブックリスト「秋号」配布中

ブックリストの「秋号」を図書館で配布しています。町立図書館ホームページでもご覧になれます。

雑誌スポンサー随時募集中

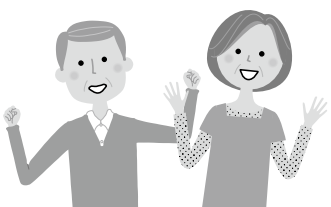
詳細は、町立図書館にお問い合わせください。

活動紹介



宇美町ボランティア情報

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。



☎ ボランティア・町民活動支援センター
ふみらぼ(し〜ず・うみ内)
☎・FAX933-1110

宇美町赤十字老人看護奉仕団 看護奉仕団 くのすの木会

「宇美町赤十字老人看護奉仕団 くのすの木会」は、お揃いの制服で仲良くボランティアをしています。近隣の高齢者施設に出向き、有資格であるハンドケアで入居者の方の心と身体を癒す活動を行っています。また、ハンドケア中の会話も大切にしており、喜んでもらえる私たちも頑張ろうという気持ちになり、お互いに心も身体も健康になれるボランティア活動です。平成30年には日本赤十字社より「金色有功章」の表彰を受け、活動の励みになっています。現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ボランティアの受け入れが行われておらず思うように活動できていませんが、受け入れが再開された時は、これまでと変わらず元気に活動していきたいと思っています。



団体プロフィール

【活動開始】平成2年4月

【会員】20人

【活動内容】高齢者施設などで、ハンドケアやお話し相手などのボランティア活動。